



要請書を佐藤市長に手渡す横松組合長(左)



要請書を星野町長に手渡す横松組合長(左)

要請書を山中副市長に手渡す横松組合長(左)と
JA おやまの渡邊文雄組合長(右)

農業生産資材・燃油価格高騰の抑制を

JAが農業者支援要請

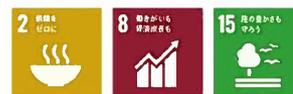


JA うつのみやの横松久夫組合長は8月18日に宇都宮市役所、25日に上三川町役場、30日に下野市役所を訪れ、「農業生産資材・燃油価格高騰等に対する農業者支援要請書」をそれぞれ宇都宮市の佐藤栄一市長、上三川町の星野光利町長、下野市の山中庄一副市長に手渡しました。

コロナ禍やウクライナ侵攻、円安などの影響により農業資材や燃油、飼料の高騰が続いており、生産者の経営継続がままならなくなることが懸念されます。また農畜産物の価格は市場の需給動向で決まることから価格転嫁が容易にできないため、厳しい状況に拍車をかけています。こうした状況に対して、JAは「生産資材等価格高騰に対する支援策」「燃油等価格高騰に対する支援策」「飼料価格高騰に対する支援策」を要請しました。

横松組合長は「JAも生産資材価格の抑制に努めているが、それも厳しい状況にある。ぜひ対策を強化していただきたい」と話しました。

2022年度



農業融資専任担当者紹介

2020年度から農業融資専任の担当者を配置し、対応を強化しています。

農業融資専任担当者は農業に関する融資専門の外回り職員で、機械更新・ハウス増設・倉庫建設など多様なニーズに対応しています。各支所の融資担当者や各営農経済センターの営農相談員と連携し、借入手続きのサポートを行います。

ぜひ、お気軽にご相談ください。

現在までの取り組み

農業融資の強化

農業者・農業法人などの資金ニーズへの対応を強化し、資金面から全力でバックアップするため、農業融資相談員を配置しています。

【農業融資専任配置後の残高比較】

2019年度（配置前）

15億9,800万円



+3億3,700万円の残高伸長

2021年度

19億3,500万円

なお、2022年8月末現在は

20億3,200万円となっています。

設備投資・規模拡大を検討されている方へ

私たちがJAうつのみやの

農業融資相談員

です！！

農業資金について
こんなお悩みはありませんか？

- どんな資金が使えるのか 教えてほしい...
- 借入したいけど手続きが大変そうだなあ...
- どのくらいの期間で借りられるのだろう

農業融資相談員とは...

- 2020年度より新たに任命！
⇒農業資金に特化した外回りです
- 窓口へ来る手間は取らせません！
⇒ネットワーク軽くお客様のものとお伺いします
- ニーズに合った資金をご提案！
⇒各支所の融資担当者と連携しお借入れの手続きをサポートします

農業資金
で悩むことはありませんか？

農業融資残高推移表



農業資金実行実績



坂本隼也さん(28)と川上大貴さん(26)の2人の仕事内容ややりがいを聞きました。

金融部資金運用課
坂本 隼也さん

【担当エリア】

- ・中央(宝木)支所
- ・城山支所
- ・姿川支部
- ・南部支所
- ・上三川支所
- ・南河内支所



Q JAに入組して何年目になりますか。また農業融資を担当して何年目になりますか。

A 入組6年目です。2020年度に農業融資専任担当者が新設され、そのときに配属されてから現在まで2年6カ月担当しています。

Q 業務の中で特に心掛けていることは何ですか。

A 訪問する中で、農業融資を相談された皆さまが何を望んでいるのかきちんと理解し、ニーズに合った資金を提案できるように心掛けています。

Q 農業融資を担当していてうれしかったことはありますか。

A 相談に来た方に「対応してくれたから無事にできたよ」「作業が良くなったよ」と言っていただけるとやりがいを感じます。また、利用者の方だけではなくJA職員とのつながりが広がったことも良かったと思います。JAの強みは総合事業を行っていることだと思うので、業務に生かす上でも横のつながりは特に大事だと思っています。

Q 今後の意気込みを教えてください。

A 組合員の皆さまにより頼られる職員になりたいです。他にも金融機関がある中で、自分がいるからJAを利用したい、安心して相談できるとしてもらえるような存在を目指しています。

Q JAに入組して何年目になりますか。また農業融資を担当して何年目になりますか。

A 入組4年目です。今年度から農業融資専任担当者として活動しています。

Q 業務の中で特に心掛けていることは何ですか。

A 信頼して相談してもらえるよう、1回1回の訪問を大切に、しっかりコミュニケーションを取るように心掛けています。相手に興味を持ち、相手にも興味を持ってもらうことで、書類だけではわからない情報を会話から得られることもあります。

Q 農業融資を担当していてうれしかったことはありますか。

A 訪問して話をした組合員さんから実際に農業融資の相談をいただき、それを実現できたときです。日々の活動が形になり、誰かに貢献できていると感じることがやりがいにつながります。

Q 今後の意気込みを教えてください。

A 積極的に行動して、一人でも多くのお客さまのニーズに応えられるようにしていきたいです。そのニーズを形にすることで、農業の発展に貢献したいと思っています。

金融部資金運用課
川上 大貴さん

【担当エリア】

- ・北部支所
- ・上河内支所
- ・河内支所
- ・豊郷支所
- ・平石支所
- ・清原支所



規格外トマトを使ったピューレ作り 女性大学第2回講座

12 つくも責任 つまみ責任



調理をする参加者



JA は7月22日、宇都宮市野沢町のパーティとちぎ男女共同参画センターで女性大学第2回講座を開き、受講生17人が参加しました。

新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、フードロス削減のため、今回は規格外トマトを使用したトマトピューレ作りを行いました。女性組織みどり会清原支部の浅川京子支部長ら2人が講師を務め「ヘタから下の白い芯は取り除くこと」や「あくは取り過ぎないこと」など、調理しながらポイントを説明。受講生は5グループに分かれ、協力し合いながらトマトピューレを完成させました。

講師からはトマトピューレを使用した料理レシピの紹介がありました。受講生は第1回講座で定植したミニトマトの成長過程などを楽しそうに話し、交流を図りました。

お盆に向けて現地検討会 JA球根切花専門部

12 つくも責任 つまみ責任



JA 球根切花専門部は7月22日、球根切花専門部現地検討会を宇都宮市内の5カ所のほ場で実施しました。部員や関係機関の担当者ら14人が参加し、ユリの生育や栽培管理の状況、作付品種などを確認しました。

今回の現地検討会では、部会全体として生育確認や出荷時期などを確認。専門部員らは出荷に向けて各ほ場を視察しました。最初にリリーランド・アマガイのほ場を視察。その後、参加者は4カ所のほ場で生育状況などを確認し、総括検討会と出荷反省会を行いました。JAの担当者によると各ほ場とも生育状況は順調。「厳しい暑さが続いている。お盆に向けてユリの栽培管理、生産者の健康管理に気を付けてほしい」と話しました。



生育状況を確認する参加者

ナシ「幸水」出荷始まる JA梨専門部

2 梨専門部



12 つくも責任 つまみ責任



初出荷される幸水の確認を行う選果員ら



JA 梨専門部は8月1日、宇都宮市上籠谷町の東部選果場で幸水の初出荷を行いました。この日は管内の生産農家10戸がナシ「幸水」約1.5トンを持ち込みました。選果員がナシの形状や傷の有無などを確認し、丁寧に選別。糖度や熟度、大きさをセンサーで測定し、10kgずつ箱に詰め、東京都大田市場に出荷されました。

今年は平年並みの肥大となり、品質・食味ともに良好。今シーズンの出荷量は幸水を約1100ト、ナシの全品種合計では約3300トを見込んでいます。

JAの担当者は「今年は3年ぶりに平年並みの作況と

なった。出荷にかなり期待を掛けている」と語りました。

同専門部では21年にナシの販売額が11億7000万円となり、過去最高となりました。今年もナシの品質向上に取り組み、販売につなげていきます。

高収益を目指して 玉葱専門部栽培講習会・土壌診断事後指導会



栽培講習会に参加する玉葱専門部部員ら



JA 玉葱専門部は8月4日、5日の2日間、栽培講習会と土壌診断事後指導会をJA管内3会場で開催しました。約50人が参加し、タマネギ栽培のポイントなどを学びました。

4日は宇都宮市上籠谷町の東部選果場で開催。生産者や関係機関の担当者ら21人が参加しました。

講習会では、トーホクの担当者が21年・22年シーズンの作柄や品種別特性・栽培方法を説明しました。

JAの担当者は生育経過やべと病対策、高収益に向けた取り組み、基本管理、土壌診断書の見方などを紹介し

ました。また、今年産の生育経過を踏まえ「来年産のタマネギは5月上旬に防除を行うこと」を促しました。

指導会ではJAの技術顧問ら3人が、事前に提出した診断内容などを基に、土壌に関する不安や悩みについて個人指導を行いました。

農業経営力と組織力アップを図る 青壮年部学習会



JA 青壮年部は8月22日、宇都宮市戸祭元町の本所で2022年度農業経営力アップ・青壮年部組織力アップ学習会を開き、盟友やJA担当者ら25人が参加しました。本年度は人材確保およびコスト削減、青壮年部組織の在り方について取り上げ、3部構成で実施しました。

第1部では肥料高騰対策について、JA全農とちぎ肥料農薬課の福川達夫課長、鈴木聡技術参与が講演。肥料価格情勢と価格高騰対策について説明し、土壌診断や堆肥の活用による減肥が重要だとしました。第2部では農福連携の取り組みについて、栃木県青年部連盟の杉山司副委員長が講演。自身の体験を基に、働き手が不足する中で農福連携を活用するメリットを説明しました。第3部では青壮年部組織の活性化について、同青年部連盟の飯田勝市委員長が講演。行動指針集であるポリシーブックの有効的な活用方法や、仮想現実 (VR) など最新技術を用いた学習方法などを紹介しました。



熱心に講演を聞く参加者

ナシ「豊水」適熟出荷を心掛けて JA梨専門部出荷目ぞろえ会



目ぞろえ会を行う部員ら



JA 梨専門部は8月下旬の3日間、ナシ「豊水」出荷目ぞろえ会を4支部ごとに宇都宮市内の各会場で開きました。合計約130人が参加し、生育状況や、ナシの販売情勢について報告が行われました。

雀宮支部は25日、宇都宮市針ヶ谷町の針ヶ谷集荷所で目ぞろえ会を行い、部員や関係機関の担当者ら20人が参加しました。

廣澤薫支部長は「収穫が遅れるとみつ症や果肉の軟化が出てくる。このことを念頭に、目ぞろえ会に臨んでほしい」とあいさつしました。

協議では出荷規格表を確認。「収穫時カラーチャートは2.0未満で統一」「病虫害果などの傷害果を出荷しない」「未熟でも過熟でもない適熟出荷を行う」の3項目を申し合わせました。

目ぞろえ会では現物を見ながら色や形の規格を確認しました。



女性組織と青壮年部が ペットボトルキャップ回収運動 (8月24日)

女性組織と青壮年部は合同でペットボトルキャップの回収運動を行いました。今回は過去最大量の約710kgのペットボトルキャップが集まりました。回収したペットボトルキャップは、世界の子どもの命を救うポリオワクチン約355本分になり、NPO法人に寄付されます。



ペットボトルキャップ回収運動に取り組む参加者



計量するみどり会上三川支部
上野弓子支部長



宇都宮産のブドウを
手に取る買い物客



特設売場に並ぶ朝採れの新鮮なブドウ



直売で管内産ブドウをPR (8月26日)

ぶどう専門部は宇都宮駅ビル・パセオ「えきの市場」内JA農産物直売所の特設売り場で、ブドウの直売を行いました。買い物に訪れた客は朝採れの新鮮なブドウを手に取り、味や種の有無、値段など担当者から説明を受け、こだわりのブドウを選びました。



ボリュームたっぷり華やかなメニュー(8月29日)

みどり会上三川支部は、宇都宮市戸祭4丁目の昭和こども食堂で調理ボランティアを行いました。今回のメニューは、トウモロコシの混ぜご飯、冷しゃぶ、スペイン風オムレツ、豆腐とツナのサラダ、スイカボールの5品。上野弓子支部長は「夏野菜をたくさん使い、見た目も華やかなメニューにしました」と話しました。

調理する上野支部長(右)と会員



机に並ぶ今回の
メニュー5品

組合員の皆さまからの地域の話や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。
※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承ください。詳しくは総務課組合員広報係まで。

横川地区送電線線下補償協議会が子ども食堂に寄付 宇都宮市から感謝状贈呈



佐藤栄一市長から感謝状を受け取った野澤会長(左)



横川地区送電線線下補償協議会は8月10日、宇都宮市役所で子ども食堂などに48万円を寄付したとして宇都宮市から感謝状を受け取りました。

宇都宮市などは今年3月、子どもたちが安心して過ごせる居場所への支援のため「宇都宮市宮っこの居場所応援連絡会議」を設置。同会議は子ども食堂などへの支援や寄付を募集しており、今回の寄付はこの運営費に充てられます。

寄付を行った同協議会は同地区内の送電線下にある農地などの地権者や関係機関によって発足。コロナ禍で活動が困難になったことなどを理由に今年解散し、残された運営資金を全額子ども食堂などに寄付しました。感謝状を受け取った同協議会の野澤秀昭会長は「ぜひ地域の子どものために資金を役立ててほしい」と語りました。



稲刈り始まる 早期米なすひかり

JA管内で8月下旬に2022年産米の稲刈りが始まりました。

宇都宮市下田原町の粕田威宏さんのほ場では8月23日、約70㍍の「なすひかり」の稲刈りを行いました。今年は梅雨明けが早まったことで、昨年よりも3日早い収穫となりました。

JAでは粕田さんをはじめ、生産者が4月中旬に植えた「なすひかり」を早期米として販売しています。2022年産については約45㍍、約254㍍の出荷を計画しています。

粕田さんは早期米の取り組みについて「複数品種を作付けすることで作期分散され、良品質米につながる」と語りました。



稲刈りをする粕田さん

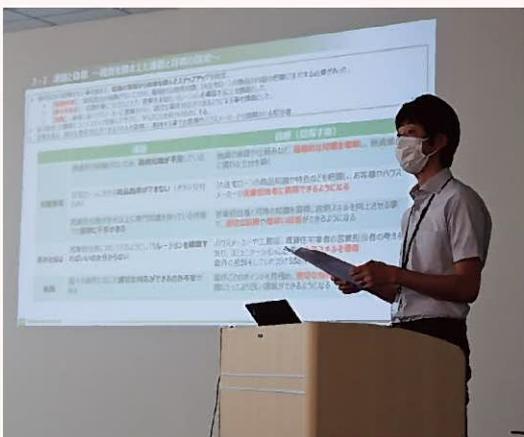


なすひかりの収穫期の様子

段階を踏んだステップアップを 融資業務トレーニー中間活動報告会



堂々と発表する齋藤トレーニー



栃木県JAビルの農林中央金庫宇都宮支店会議室で8月24日、融資業務トレーニー活動中間報告会が行われ、JA役員ら17人が参加しました。JAは2019年から融資の専担者を育成するため、職員1人を農林中央金庫に派遣しています。本年度は金融部の齋藤圭佑さんが1年間の研修を受けています。中間活動報告で齋藤さんは、経歴を踏まえた課題と目標を設定したこと、段階を踏んで知識を身に付けたことなど、具体例を挙げて発表しました。また、今後の目指す姿として「ハウスメーカーだけでなく他JAや金庫、保証機関などと関係を構築し、案件獲得に向けた戦略を実践していく」と話しました。

JAの横松久夫組合長は「相手を知り、自分を知ってもらうことが融資業務で大事なこと。引き続き自分自身を磨いて、頑張ってもらいたい」と期待を述べました。

麦



基本技術の励行

実需の求めている麦の品質とするには、土づくり・排水対策・適正施肥・適期播種・病害虫防除・適期収穫などの基本技術を積み重ねることが重要です。(2022年産の蛋白含量分析結果や、表1を参考に適期播種・適正施肥に取り組みましょう。)

排水対策の徹底

麦は湿害に弱く、すべての生育期間で湿害を受けやすい作物です。最近

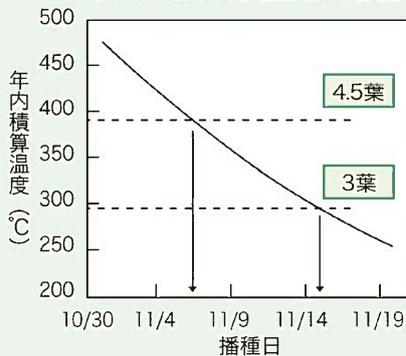
播種量と施肥量の基準

品 種 名	播種量(ドリル播)	施肥基準 (窒素成分)
ニューサチホ ゴールデン	8.5kg/10a	6.5~8.0kg/10a
さとのそら	7~8kg/10a	10~11kg/10a
ゆめかおり	7~8kg/10a	12kg/10a (ゆめ専用肥料60kg/10a) 追肥：2~4kg/10a

表1

図1 【播種日と年内積算温度との関係】

(1997~2009年/観測地：宇都宮)



は、地球温暖化の影響で、雨が激しく降る傾向が強くなり、降水量が多くなっています。排水対策として①地表排水(排水溝設置)②浸透排水(心土破砕)③畝立て同時播種栽培を行います。排水溝(明きよ)は排水口と確実につながっているか、確認しましょう。

適期播種
適正な播種時期の目安は、年内に葉齢3葉程度を確保し、根張りを十分にさせると同時に、目標穂数の8割以上の茎数を形成する時期です。
県中部(宇都宮)で年内に3~4.5葉を確保するための積算温度は300~400°Cなので(図1)、播種は11月6日~15日が適期になります。
適期より播種が遅れると①凍上害や倒伏が発生しやすい②分げつが少ない③生育が遅れ、登熟日数が短くなり、整粒歩合が低くなる④蛋白質含有率・硝子質率が低くなる⑤赤かび病

種子消毒

近年、大麦斑葉病やなまぐさ黒穂病の発生が見られます。種子伝染性病害を防除し、高品質麦を安定生産するために、種子消毒を行います。

大豆



大豆の収穫は、早すぎると刈り取り時に茎汁などによる汚損粒や破碎粒が発生し、遅れると自然裂莢による収穫ロスや割れ粒・亀甲じわ粒が多くなり、加えて連続した雨に遭うと腐敗粒が多くなり品質が低下します。
品質の低下を防ぐためには、収穫適期になったら、素早く収穫することが重要で、そのための環境を事前に整えましょう。

排水溝の点検

収穫前にはほ場の排水溝を点検し、不意の大雨があっても速やかに排水ができるようにしておきましょう。降雨による作業の遅れは、麦の播種の遅れにもつながるので、排水溝を点検補修し、降雨による作業の遅れを最小限に抑えましょう。

青立ち株・大型雑草の除去

収穫前には必ず青立ち株や大型雑草を除去し汚損粒の発生を防止しましょう。

適期に収穫を

コンバインによる収穫は、汚損粒の発生を防ぐため茎水分が40%以下、破碎粒発生を防ぐため子実水分18%以下になってから行います。表2を参考に適期を判断しましょう。降雨があった時は1~2日待って判断します。
刈り取りは茎や莢の表面が乾いている晴天の10~16時頃に行うようにし、刈り取りの高さは10cm以上とし、刈り残しが出ない程度でなるべく高く刈りましょう。その時には必ず10分程度試し刈りを行い、品質をチェックしましょう。

- 茎水分の目安
 - 70% 緑色が残る
 - 60% 莢と同じ褐色
 - 40% ほとんどの茎が黒変開始し、剥皮率が30%程度
手で折ると軽くパキッと折れる
- 子実水分の目安
 - 20% 噛むと音がせずに割れる
 - 18% 爪を立てると少しあとが残る
 - 15% 噛むとパリッと割れる
- 剥皮率 (30%程度)
 - 皮の剥げる長さ ÷ 主莖長 × 100

表2

みどり会国本支部活動について

みどり会国本支部は、新型コロナウイルスの感染防止を講じ、少しずつ活動を再開しました。感染対策を十分に行いながら、講師を招き「食事と健康」についての講話と屋外での「寄せ植え教室」を開催しました。多くの会員の方に参加いただき、笑顔で楽しく活動ができたことに喜びを感じました。今年度は「新聞紙エコバック制作」や家の光の読み合わせなどを行い、交流の機会を増やしております。これからも安心して集まれるように、配慮しながら明るく・楽しく活動していきたいと思っております。



寄せ植え教室に参加した会員たち

女性組織から

Newsletter

ニュースレター



講話を聞く会員たち



完成した新聞紙エコバック

みどり会河内支部活動について

みどり会河内支部では、7月14日に毎年実施している「ゴキブリ団子作り」を新型コロナウイルス感染防止対策を講じて開催いたしました。当日は、10人の参加者が20人分の団子を手際よく作りました。コロナ禍で入手困難になっているホウ酸でしたが、なんとか準備が整い、会員思い思いの個性豊かな団子を作ることができました。

終了後は、下期支部活動の話し合いを実施。コロナ禍前の楽しかった思い出話も出て、感染拡大が早く収束し以前の活動ができるよう願いました。



7月14日に行ったゴキブリ団子作り



ゴキブリ団子を作る会員たち

ワンプレート レシピ

One plate recipe

手羽元と
サツマイモの甘辛煮



シェフ永井のおすすめ

材料(4人分)

手羽元……………8本
サツマイモ……………中2本
ショウガ(スライス)……………10g
ごま油……………大さじ1

煮汁

水……………600ml
しょうゆ……………100ml
料理酒……………100ml
砂糖……………大さじ6と2/3
みりん……………大さじ3と1/3
酢……………大さじ3と1/3
コチュジャン……………大さじ1

作り方

- ① サツマイモは厚めに皮をむいて乱切りにし、水にさらしておく。
- ② 深めのフライパンにごま油を熱し、手羽元、サツマイモ、ショウガを入れ手羽元にしっかりと焼き色を付ける。
- ③ ②のフライパンに煮汁の材料を全て入れ、キッチンペーパーで落としふたをして中火で25分煮込む。
- ④ 器に盛り付け、カイワレなどお好みの青み(材料外)をあしらひ出来上がり。

茨城県笠間市にある
天晴(旧キッチン晴人)
オーナーシェフ
ながい ともかず
永井 智一



今月の直売所情報

新米はJA直売所で!!

お米の特売日

JAうつのみや お薦めのみやおとめ(コシヒカリ)をお買い得価格にて販売します!!

JAグリーンインターパーク
直売所 毎月第3日曜日(10/16)



JAグリーンかみかわち
直売所 毎月8の付く日(10/8,18,28)

特売 南河内
グリーンセンター
第3金土日曜は
特売デー

11/1~3/31の期間、下記のとおり営業時間が冬時間に変更となります。

店舗	開店時間	閉店時間	定休日
JAグリーンインターパーク直売所	午前9時	午後4時	第2火曜日

南河内グリーンセンター
生産者さん募集中!!

北側ガラス温室テナントも同時募集中
詳しくは南河内営農経済センター
TEL: 0285-48-2215
営農課 森田・上野まで

南部支所 **だより**

各支所の活動や地域の情報をお届けします!



人生のライフイベントに備えた資産形成・運用のご相談に応じる精鋭たち

当支所の金融事業には、次長・金融係長・融資係長を始めとし、総勢19人の職員が業務に携わっております。中でもご自宅に訪問し、皆さまの大切な資産の運用を一緒に考え、ご提案させていただき金融総合渉外の面々をご紹介します。写真右から井古田咲良(横川地区担当)・杉山ゆきの(横川・横西地区担当)・齋藤幸紀(雀宮地区担当)・田中涼子(雀宮地区担当)・山吉侑里(瑞穂野地区担当)・大越理恵(瑞穂野地区担当)以上6人の職員が皆さまの将来を見据えた資産の運用方法をご提案させていただきます。この機会にぜひとも投資信託などを含めた総合的な運用をご検討されてはいかがでしょうか。一度話を聞いてみたいと思われた際はご連絡ください。



金融総合渉外担当者

万一の時に備えた保障に対するご相談に応じるアドバイザーの精鋭たち



ライフアドバイザー(LA)

当支所の共済事業には、次長・共済係長を始めとし、総勢11人の職員が業務に携わっております。中でもご自宅に訪問し、皆さま方の疾病時の入院や災害時などの万一に備えた保障や相続対策を含めた総合的なご提案をさせていただきライフアドバイザーの面々をご紹介します。写真右から鈴木史穂(横川地区担当)・寺澤美穂(横川・横西地区担当)・青木大智(雀宮地区担当)・佐藤慎也(雀宮地区担当)・瀧田美紀(瑞穂野地区担当)・福田邦尚(瑞穂野地区担当)以上6人の職員が皆さまの大切な将来の保障をご提案させていただきますので、よろしくお願いします。

各種お問い合わせはこちらへ

支所・センター電話番号

中央支所 028-633-3467	南河内支所 0285-48-2211
宝木出張所 028-622-6111	上三川支所 0285-55-1510
平石支所 028-661-4311	宇都宮北部営農経済センター 028-665-0550
南部支所 028-656-1020	宇都宮西部営農経済センター 028-658-6565
城山支所 028-652-0711	宇都宮南部営農経済センター 028-656-8484
北部支所 028-665-0003	宇都宮東部営農経済センター 028-660-3535
豊郷支所 028-624-8011	上河内営農経済センター 028-674-2164
清原支所 028-667-0151	河内営農経済センター 028-673-6911
姿川支所 028-658-6881	南河内営農経済センター 0285-48-2215
上河内支所 028-674-3333	上三川営農経済センター 0285-55-1511
河内支所 028-673-3135	住宅ローンセンター 028-622-7100

- キャッシュカードの紛失・盗難**
 フリーダイヤル0120-082065
- 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)**
 事故受付センター フリーダイヤル0120-258931
- JA葬祭(24時間受付)**
 アトラス宇都宮ホール 028-660-5555
 アトラスファミリーホール鶴田 028-633-9200
 アトラス上三川ホール 0285-55-1555
- LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配達**
 フリーコール 0800-700-0085(通話無料)
 ※緊急連絡先028-633-0085